

第3回

第1回日本放射線医療技術学術大会 (1st JCRTM)

第40回日本診療放射線技師学術大会 (40th JCRT)

第52回日本放射線技術学会秋季学術大会 (52nd Autumn Scientific Congress of the JSRT)

# 沖縄への道 Go To OKINAWA

運営委員 福原 恵

(一般社団法人沖縄県放射線技師会 理事)



前回は、皆さまを迎え入れます会場（沖縄コンベンションセンター：宜野湾市）と会場周辺のお勧めスポットをご紹介します。今回は、那覇市内の移動手段として利用されている沖縄都市モノレール（ゆいレール）の最寄りの駅から徒歩で行ける観光スポットと、レンタカーで行く沖縄南部地域のドライブスポットをご紹介しますと思います。

## 那覇市と沖縄南部の観光

那覇市には、「識名園（しきなえん）」や「玉陵（たまうどうん）」といった世界遺産がいくつかあります。その中でも有名な観光スポットの一つに「首里城跡」があり、ゆいレール「首里」駅から徒歩15分ほどで行くことができます。首里城は、2019年10月31日の火災により、正殿や北殿など8つの建物が焼失してしまいました。現在、2026年の正殿完成に向けて復元工事が進められており、施設では琉球王国の歴史や文化、復興の様子を見学できる体験ツアーもあります。ぜひ、この機会に復興の現場を見学してみたいと思いませんか？

また市内には、沖縄県民の台所として多くの人々に親しまれ、近年では国内外を問わず多くの観光客の人気スポットとなっている「第一牧志公設市場」があります。公設市場は、ゆいレール「牧志」駅から徒歩9分ほどの場所で、那覇国際通りから市場本通りへと入って100mほど進んだ所にあります。沖縄ならではの食材を数多くそろえ、中味汁やラフテーといった伝統的な琉球料理から沖縄の郷土料理などを味わえる食堂街もあります。さらにこちらでは、購入した食材を飲食店で調理してもらい食することができるシステムがありますので、普段とはちょっと違った沖縄料理を試してみたいと思いませんか？

その第一牧志公設市場へ向かう市場本通りをさらに奥へ進むと、石畳が続く「壺屋（つぼや）のやちむん通り」へと出ます。沖縄伝統のシーサーや壺などの焼き物（やちむん）を販売している土産店がたくさんあります。土産店以外にも焼物博物館やカフェもあり、工房の見学や絵付け体験をできる施設もあります。戦争の被害が少なかった壺屋は、昔ながらの風情あふれる沖縄の町並みが多く残っており、石畳が続く通りは、ゆったり散策にピッタリのスポットになっています。

続いて、沖縄南部お勧めドライブスポットをいくつかご紹介したいと思います。那覇空港から南に車で10分ほどの所にある瀬長島（せながじま）は、空港を離着陸する飛行機を間近に見られる絶景スポットとして人気のある島です。島内には、外国のリゾート地を思わせるおしゃれなカフェやセレクトショップが並ぶ「ウミカジテラス」があり、食事やショッピングを楽しめる場所となっています。国道331号線を南下し、「ひめゆりの塔」や「平和記念公園」を抜け、さらに車で15分ほど移動すると、約30万年の年月をかけて造り上げられた鍾乳洞玉泉洞（ぎょくせんどう）のある「おきなわワールド」や、その鍾乳洞が崩れてできた太古の谷「ガンガラーの谷」があります。国内最大級の鍾乳洞や豊かな自然が残る亜熱帯の森を体験できる神秘的なスポットの一つです。また近くには奥武島（おうじま）という車で渡れる小さな島があり、観光客に人気の沖縄風天ぷら屋さんがあるドライブスポットになっています。ちなみに島にあるあちこーこー（熱々）の魚てんぷらは絶品です。国道331号線を北上すると、琉球王国最高の聖地、世界文化遺産の「斎場御嶽（せいふあうたき）」があり、近くの知念岬公園からは太平洋を一望することができ、神の島と呼ばれる久高島（くだかじま）を間近に見ることができる絶景スポットです。

今回は、那覇市と沖縄南部地域の観光スポットをいくつか紹介してきましたが、まだまだ、沖縄にはたくさんの観光スポットがあります。学術大会の限られた滞在時間ではありますが、ぜひ、この機会にパワースポットや癒やしのスポットへ足を運んでいただき、少しでも沖縄を体験していただければと思っています。多くの皆さまにお会いできることを楽しみにしております。



やちむん通り



奥武島



知念岬